

このページは、小・中学生に向けて小学生によるさまざまな仕事体験を紹介し  
ます。梅光学院大学子ども学部子ども  
未来学科の学生が作っています。

# しものせき キッズページ

とよた さと  
豊田ホテルの里ミュージアムで  
しごとたいけん  
お仕事体験!!



山下唯菜さん  
亀田晴陽くん

△9月号の編集記者…真栄田あかりさん、萩原明日香さん、田中沙季さん(後列左から)

今回は、豊田ホテルの里ミュージアムに行つて学芸員体験をしてきました。本村小学校5年生の亀田晴陽くん、6年生の山下唯菜さんと一緒です。



みんなは学芸員って知ってるかな？博物館に勤めていて、資料を集めたり展示したり、調査や研究をしたりする専門家のことだよ。  
豊田ホテルの里ミュージアムの学芸員の川野さんは、虫のことを専門にしている人なんだ。虫以外にも石や植物や動物のことも、いろいろ知ってる人で、2人とも驚いていたよ。

## ハリガネムシ

川野さんが今一番興味がある生き物がハリガネムシ。カマキリのおなかの中にある、針金みたいなウニョウニョ動く生き物だよ。日本には14種類、世界には300種類もいるんだって。意外かもしれないけれど、ハリガネムシって身近にいるんだよ。



## 顕微鏡体験



学芸員の川野さんに教えてもらいながらまずは顕微鏡体験。学校にある顕微鏡よりもすごい性能の顕微鏡で、石や虫を観察したよ。

## 植物標本作り

植物標本作り。豊田ホテルの里ミュージアムは昆虫の標本もたくさんあるけれど、植物の標本もどんどん作っていったところなんだって。こうやって標本を作つて保管することで、何十年後にこれ何の植物だ？ってなった時のために資料が作られていくんだ。何十年後に使われるかもしれないと思うと責任重大だね。小学生たちもドキドキしながら、小さなアイロンみたいな機械を片手に標本を作っていたよ。



## ゲンゴロウやウナギに餌やり



ミュージアムの中で飼育・展示されているゲンゴロウやウナギに餌をあげることにしたよ。餌は鶏肉とアカムシ。初めて知ったけど、ゲンゴウって餌の鶏肉を取りに水面まで上がって来るし、餌を持ってもぐもぐ食べるんだね。虫なのに(つて言うと思いきや)、何だかペットみたいでかわいかったよ。

豊田ホテルの里ミュージアムでお仕事体験をして、専門家の人たちの知識のすごさがわかったんだ。  
豊田ホテルの里ミュージアムでは、9月10日まで企画展「蜜の心臓と蟲の心臓」をやっているよ。普段とはちょっと違ったミクロの世界からホテルや虫を見つめるのも楽しいかも。虫が好きなのも、理科が得意な人も、そうじゃない人も、楽しいからぜひ行ってみてね。

